

執筆者紹介（執筆順）

（担当章、現職、出身校、専門、主著、＊は編者）

北野 雄士（きたの ゆうじ）＊

はしがき プロローグ 第6章 あとがき

現 職 大阪産業大学国際学部国際学科・教授

出身校 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学

専 門 歴史社会学

主 著 「横井小楠における「三代」理念の展開」『大阪産業大学人間環境論集』12号、1-23頁、2013年。

「横井小楠と『近思録』——「三代」理念の受容を巡って」『大阪産業大学論集 人文・社会科学篇』19号、83-104頁、2013年。

「横井小楠と『書経』——なぜ「二典三謨」の篇を重んじたのか」『大阪産業大学論集 人文・社会科学篇』23号、25-43頁、2015年。

山本 哲司（やまもと てつじ）

第1章

現 職 （社）日本ライフストーリー研究所・調査研究員

出身校 龍谷大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得退学

専 門 差別論、ライフヒストリー、生活文化史

主 著 「ライフヒストリーインタビューにおける被差別経験の語りの様式と排除の構造」『龍谷大学社会学部紀要』32号、38-50頁、2008年。

「被差別部落における〈被差別の表象〉とまちづくりの課題——生活史の聞き取りから」『龍谷紀要』30巻2号、37-54頁、2009年。

「寺院護持問題をめぐる門徒の宗教行動と浄土真宗理解に関する一考察——浄土真宗本願寺派第9回宗勢基本調査の分析から」『龍谷大学社会学部紀要』41号、42-63頁、2012年。

岡尾 将秀（おかお まさひで）

第2章

現 職 大阪市立大学都市文化研究センター・研究員

出身校 大阪大学大学院人間科学研究科後期博士課程単位取得退学 博士（人間科学）

専 門 宗教社会学

主 著 「天理教における講の結成——生活のなかでの儀礼と奉仕」、宗教社会学の会編『宗教を理解すること』創元社、2007年。

「都市周辺山地における民俗宗教の変容と継続」『大阪産業大学論集 人文・社会科学編』23号、45-65頁、2015年。

「テラワダ仏教の日本人による受容」、三木英編『異教のニューカマーたち——日本における移民と宗教』森話社、2017年。

川田 美紀（かわた みき）

第3章

現 職 大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科・准教授

出身校 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了 博士（人間科学）

専 門 環境社会学

主 著 「共同利用空間における自然保護のあり方——霞ヶ浦北浦湖岸の一集落を事例として」『環境社会学研究』12号、136-149頁、2006年。

「都市における財産区の役割——阪神淡路大震災の被災地を事例として」『村落社会学研究』47集、83-116頁、2011年。

「水環境の社会学——資源管理から場所とのかかわりへ（研究動向）」『環境社会学研究』19号、174-183頁、2013年。

菊地 真理（きくち まり）

第4章

現 職 大阪産業大学経済学部国際経済学科・准教授

出身校 奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了 博士（学術）

専 門 家族社会学、家族関係学、ステップファミリー研究

主 著 「離婚後の別居親子の接触の賛否を規定する要因——JGSS-2006を用いた分析」『日本版 General Social Surveys 報告論文集——JGSS で見た日本人の意識と行動』7号、93-105頁、2008年。

「若年成人継子が語る継親子関係の多様性——ステップファミリーにおける継親の役割と継子の適応」『明治学院大学社会学部附属研究所年報』44号、69-87頁、2014年（野沢慎司氏との共著）。

「ステップファミリーにおける継親子間の養子縁組と別居親子間関係——インタビュー事例に見る離婚・再婚後の家族形成と法制度」松岡悦子編『子どもを産む・家族をつくる人類学——オルタナティブへの誘い』勉誠出版、2017年。

安元 佐織（やすもと さおり）

第5章

現 職 大阪大学大学院人間科学研究科・講師

出身校 Georgia State University, Department of Sociology 修了 Ph.D

専 門 家族社会学、老年学、質的研究法

主 著 “The Culture of Fatherhood in Japanese Comic Strips: A Historical Analysis.” *Journal of Comparative Family Studies* 41 (4). pp. 611-627, 2010. (with Ralph LaRossa).

「百寿者研究における家族関係に関する調査の意義」『老年社会科学』39巻1号、60-65頁、2017年。

「百寿者にとっての幸福の構成要素」『老年社会科学』39巻3号、365-373頁、2017年（権藤恭之氏・中川威氏・増井幸恵氏との共著）。

太田 美帆（おおた みほ）

第7章

現 職 静岡大学大学院農学領域・助教

出身校 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学

専 門 福祉国家論、市民社会論、エリア・スタディーズ

主 著 「スウェーデンのイェムトランド県における地域創生の基盤づくり——『実現するもの』と『可能にするもの』の協働」、『神戸学院大学人文学部紀要』30号、215-228頁、2010年。

「福祉——個人と社会で作る豊かな生活」内海博文編『現代社会を学ぶ——社会の再想像＝再創造のために』ミネルヴァ書房、2014年。

「社会的経済政策から見る就労支援——スウェーデンにおける長期失業者の社会的包摂」福原宏幸・中村健吾・柳原剛司編『ユーロ危機と欧州福祉レジームの変容——アクティベーションと社会的包摂』明石書店、2015年。

西川 知亨（にしかわ ともゆき）

第8章

現 職 関西大学人間健康学部人間健康学科・准教授

出身校 京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了 博士（文学）

専 門 社会病理学、社会的相互作用論、社会学史

主 著 “Pauvreté relationnelle et résilience sociale dans le Japon contemporain,” *Informations sociales*, 168, Caisse nationale des Allocations familiales, 96-102, 2011.

「現代日本における反貧困活動の展開——時空間の人間生態学」『フォーラム現代社会学』11号、関西社会学会、41-53頁、2012年。

『〈オトコの育児〉の社会学——家族をめぐる喜びととまどい』（共編）ミネルヴァ書房、2016年。

景山 佳代子（かげやま かよこ）

第9章

現 職 神戸女学院大学文学部総合文化学科・准教授

出身校 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了 博士（人間科学）

専 門 社会学、メディア論

主 著 『性・メディア・風俗』ハーベスト社、2010年。

「風俗——日常知と理論の往還運動」、「教育——抑圧の道具、解放の武器」、「表現する——解放への格闘と創造の喜び」内海博文編『現代社会を学ぶ——社会の再想像＝再創造のために』ミネルヴァ書房、2014年。

『日常を拓く知 古典を読む1 やさしさ』神戸女学院大学文学部総合文化学科（監修）景山佳代子（編著）世界思想社、2017年。

曾我 千亜紀 (そが ちあき)

第10章

現 職 大阪産業大学国際学部国際学科・准教授

出身校 名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程単位取得退学 博士（情報科学）

専 門 情報社会論、フランス哲学思想

主 著 「情報検索から情報創造へ——知の転換に向けて」『社会情報学研究』16巻1号、53-66頁、2012年。

「情報の消費と浪費——『情報体』概念に基づくコミュニケーションの形」『名古屋大学哲学論集』12号、29-41頁、2015年。

『情報体の哲学』ナカニシヤ出版、2017年。

内海 博文 (うつみ ひろふみ)

第11章 エピローグ

現 職 追手門学院大学社会学部社会学科・准教授

出身校 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了 博士（人間科学）

専 門 理論社会学

主 著 『現代社会を学ぶ——社会の再想像＝再創造のために』（編著）ミネルヴァ書房、2014年。

『国際看護学』（共編）クオリティケア、2014年。

『文明化と暴力——エリアス社会理論の研究』東信堂、2014年。